



2019年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2018年10月26日

上場会社名 株式会社 エスティック
 コード番号 6161 URL <http://www.estic.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 鈴木 弘

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役管理部長 (氏名) 伊勢嶋 勇

TEL 06-6993-8855

四半期報告書提出予定日 2018年11月2日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2019年3月期第2四半期の連結業績(2018年3月21日～2018年9月20日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第2四半期	3,424	46.4	1,013	58.8	1,035	65.2	662	56.1
2018年3月期第2四半期	2,339	6.7	638	18.0	627	24.4	424	24.1

(注) 包括利益 2019年3月期第2四半期 647百万円 (50.3%) 2018年3月期第2四半期 430百万円 (48.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第2四半期	243.60	
2018年3月期第2四半期	156.01	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年3月期第2四半期	6,883	5,833	84.4
2018年3月期	6,390	5,362	83.7

(参考) 自己資本 2019年3月期第2四半期 5,811百万円 2018年3月期 5,345百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期		0.00		65.00	65.00
2019年3月期		0.00			
2019年3月期(予想)				83.00	83.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2019年3月期の連結業績予想(2018年3月21日～2019年3月20日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,073	21.9	1,623	29.4	1,659	31.5	1,086	26.5	399.40

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2019年3月期2Q	2,942,000 株	2018年3月期	2,942,000 株
期末自己株式数	2019年3月期2Q	222,970 株	2018年3月期	222,944 株
期中平均株式数(四半期累計)	2019年3月期2Q	2,719,049 株	2018年3月期2Q	2,719,056 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

当社は、2018年10月31日にアナリスト向けの四半期決算説明会を開催する予定です。当日使用する決算説明会資料については、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

2019年3月期第2四半期決算短信より、日付の表示方法を和暦表示から西暦表示に変更しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

① 国内市場

当第2四半期累計期間における日本経済は、米中通商問題の波及や自然災害による一時的な生産性の低下などの懸念があったものの、個人消費、設備投資、企業収益共に引き続き緩やかな改善状況にありました。

そのような状況のなか当社主力販売先である自動車産業における設備投資の状況につきましては、好調な業績を背景に各社積極的な設備投資が継続しており、前年に引き続き販売状況は堅調に推移しております。

品種別販売状況ではハンドナットランナ、ナットランナ、ネジ締付装置の需要が拡大しており、前年及び当初予想を大きく上回る売上高となりました。

② 米国市場

雇用・所得環境は良好に推移し個人消費も堅調に推移していますが、貿易摩擦深刻化への懸念による経済への悪影響などの不安感からか、受注が見込まれていた大口案件の先送り等もあり売上高は当初予想を下回る状況で推移しております。

③ 中国市場

米国との貿易摩擦懸念などにより製造業の生産・設備投資抑制が徐々に拡大している中、自動車産業の設備投資については当初予想を上回り堅調に推移してまいりました。当第2四半期累計期間においては特にハンドナットランナの販売が拡大し、ナットランナ、ネジ締付装置も前年同期を上回る売上高となりました。

④ その他の市場

韓国市場では自動車産業の一部で停滞していた設備投資が再開され、新規製造ラインの増加などによりナットランナの販売が大幅に拡大しました。

その他、タイ、カナダ、インド、などでナットランナやハンドナットランナの販売が堅調に推移しました。

その結果、当第2四半期連結累計期間は、売上高3,424百万円(前年同四半期比46.4%増)、営業利益1,013百万円(前年同四半期比58.8%増)、経常利益1,035百万円(前年同四半期比65.2%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益662百万円(前年同四半期比56.1%増)となりました。

なお、当社製品は、ネジ締付装置、同部品及びネジ締付工具でありますので、単一セグメントとして市場環境を判断しております。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の資産は、6,883百万円と前連結会計年度末比493百万円の増加となりました。増減の主な内訳は、受取手形及び売掛金が383百万円、原材料が184百万円増加したためであります。

当第2四半期連結会計期間末の負債は、1,049百万円と前連結会計年度末比22百万円の増加となりました。増減の主な内訳は、未払法人税等が43百万円増加したためであります。

当第2四半期連結会計期間末の純資産は、5,833百万円と前連結会計年度末比470百万円の増加となりました。増減の主な内訳は、利益剰余金が485百万円増加したためであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は、1,076百万円となり、前連結会計年度末に比べて90百万円の減少となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フロー別の状況は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは102百万円の収入(前年同四半期は185百万円の収入)となりました。

これは主に、売上債権の増加額390百万円、たな卸資産の増加額281百万円などの減少要因があった一方、税金等調整前四半期純利益960百万円などの増加要因があったことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは15百万円の支出(前年同四半期は31百万円の支出)となりました。

これは主に、定期預金の払戻による収入40百万円の増加要因があった一方、定期預金の預入による支出40百万円、有形固定資産の取得による支出35百万円などの減少要因があったことによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは176百万円の支出(前年同四半期は130百万円の支出)となりました。

これは主に、配当金の支払額176百万円などの減少要因があったことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年3月期通期連結業績予想に関する事項につきましては、2018年10月22日付の「業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」において公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年3月20日)	当第2四半期連結会計期間 (2018年9月20日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,219,010	1,128,350
受取手形及び売掛金	1,782,387	2,165,978
商品及び製品	319,769	316,790
仕掛品	390,301	487,984
原材料	634,033	818,526
繰延税金資産	140,795	117,953
その他	72,339	99,054
貸倒引当金	△2,440	△2,297
流動資産合計	4,556,198	5,132,341
固定資産		
有形固定資産		
土地	830,106	830,106
その他(純額)	498,266	434,554
有形固定資産合計	1,328,372	1,264,660
無形固定資産		
無形固定資産	26,201	23,202
投資その他の資産		
繰延税金資産	20,011	22,350
その他	460,207	441,460
貸倒引当金	△800	△800
投資その他の資産合計	479,419	463,010
固定資産合計	1,833,993	1,750,874
資産合計	6,390,191	6,883,215

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2018年3月20日)	当第2四半期連結会計期間 (2018年9月20日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	285,594	318,770
未払法人税等	228,000	271,719
賞与引当金	45,683	51,600
役員賞与引当金	—	10,500
製品保証引当金	61,402	71,103
その他	216,844	128,321
流動負債合計	837,523	852,014
固定負債		
退職給付に係る負債	184,451	192,216
その他	5,381	5,261
固定負債合計	189,832	197,478
負債合計	1,027,355	1,049,492
純資産の部		
株主資本		
資本金	557,000	557,000
資本剰余金	639,750	639,750
利益剰余金	4,307,968	4,793,578
自己株式	△218,235	△218,361
株主資本合計	5,286,482	5,771,966
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	36,261	31,290
為替換算調整勘定	22,807	8,028
その他の包括利益累計額合計	59,069	39,319
非支配株主持分	17,283	22,437
純資産合計	5,362,835	5,833,723
負債純資産合計	6,390,191	6,883,215

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2017年3月21日 至2017年9月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自2018年3月21日 至2018年9月20日)
売上高	2,339,885	3,424,945
売上原価	1,273,114	1,914,741
売上総利益	1,066,771	1,510,203
販売費及び一般管理費	428,614	496,791
営業利益	638,156	1,013,411
営業外収益		
受取利息	84	105
受取配当金	1,682	2,306
持分法による投資利益	1,588	19,995
その他	1,770	3,825
営業外収益合計	5,125	26,233
営業外費用		
為替差損	14,922	4,088
固定資産売却損	1,345	—
営業外費用合計	16,267	4,088
経常利益	627,014	1,035,556
特別損失		
固定資産除却損	—	75,422
特別損失合計	—	75,422
税金等調整前四半期純利益	627,014	960,133
法人税、住民税及び事業税	179,721	269,096
法人税等調整額	20,392	22,592
法人税等合計	200,114	291,688
四半期純利益	426,900	668,445
非支配株主に帰属する四半期純利益	2,707	6,096
親会社株主に帰属する四半期純利益	424,192	662,348

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年3月21日 至 2017年9月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年3月21日 至 2018年9月20日)
四半期純利益	426,900	668,445
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	12,659	△4,971
為替換算調整勘定	△5,293	△6,626
持分法適用会社に対する持分相当額	△3,433	△9,095
その他の包括利益合計	3,933	△20,692
四半期包括利益	430,833	647,752
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	427,954	642,598
非支配株主に係る四半期包括利益	2,879	5,153

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2017年3月21日 至2017年9月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自2018年3月21日 至2018年9月20日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	627,014	960,133
減価償却費	36,376	39,016
貸倒引当金の増減額(△は減少)	3,263	△143
受取利息及び受取配当金	△1,766	△2,412
為替差損益(△は益)	936	△3,369
持分法による投資損益(△は益)	△1,588	△19,995
固定資産売却損益(△は益)	1,345	-
固定資産除却損	-	75,422
売上債権の増減額(△は増加)	△76,542	△390,252
たな卸資産の増減額(△は増加)	△142,001	△281,106
仕入債務の増減額(△は減少)	73,921	33,175
賞与引当金の増減額(△は減少)	4,792	5,917
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	16,248	10,500
製品保証引当金の増減額(△は減少)	12,000	9,700
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	11,886	7,764
未収消費税等の増減額(△は増加)	△8,917	18,070
その他	△123,974	△138,694
小計	432,994	323,726
利息及び配当金の受取額	1,766	2,413
法人税等の支払額	△249,182	△223,853
営業活動によるキャッシュ・フロー	185,578	102,285
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△40,000	△40,000
定期預金の払戻による収入	40,000	40,000
有形固定資産の取得による支出	△27,570	△35,898
有形固定資産の売却による収入	3,196	-
無形固定資産の取得による支出	△3,546	△1,496
投資有価証券の取得による支出	△3,009	△3,319
その他	△694	25,475
投資活動によるキャッシュ・フロー	△31,623	△15,239
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	-	△125
配当金の支払額	△130,360	△176,681
財務活動によるキャッシュ・フロー	△130,360	△176,807
現金及び現金同等物に係る換算差額	△5,008	△873
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	18,585	△90,635
現金及び現金同等物の期首残高	745,923	1,167,274
現金及び現金同等物の四半期末残高	764,508	1,076,638

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。